



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 日本ピグメント株式会社
 コード番号 4119 URL <https://www.pigment.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 龍巳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 梶 英俊
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6362-8801

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	13,394	△3.2	△50	—	76	△91.6	64	△89.3
2022年3月期第2四半期	13,835	0.4	835	—	904	—	602	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 878百万円 (△11.6%) 2022年3月期第2四半期 994百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	41.08	—
2022年3月期第2四半期	383.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	33,473	15,702	43.5
2022年3月期	32,771	14,980	42.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 14,551百万円 2022年3月期 13,984百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	100.00	100.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,700	7.7	350	△72.8	500	△65.8	300	△66.1	191.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	1,575,899 株	2022年3月期	1,575,899 株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	6,067 株	2022年3月期	5,991 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	1,569,869 株	2022年3月期2Q	1,569,923 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の規制緩和による社会経済活動の正常化もあって景気は緩やかに持ち直しているものの、ウクライナ問題の長期化や急激な円安に伴う資源価格の高騰による物価上昇が続いており、今後の景気動向は不透明な状況です。海外においても、本邦を上回る物価上昇、それに伴う金融引き締めの実施により、景気の減速懸念が高まっております。

このようななか当社グループにおいては、半導体不足等の影響により自動車関連の減産が長引いていることから、当第2四半期連結累計期間の売上高は133億9千4百万円(前年同期比3.2%減)、経常利益は7千6百万円(前年同期比91.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6千4百万円(前年同期比89.3%減)となりました。

当社グループのセグメント別の業績は次のとおりであります。

「日本」

国内部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、自動車向けで半導体不足の影響が想定以上に長引いていることから、樹脂全般で在庫調整の影響を受け、経費面では電気料金高騰が収益を圧迫し部門営業利益は昨年を下回りました。

樹脂用着色剤部門は、建材向けが堅調ではあったものの、自動車関連の販売が落ち込み、フィルム用途、化粧品・トイレタリー向けも伸び悩み、原料価格の高騰も相まって、部門営業利益は昨年を下回りました。

加工カラー部門は、主要取引先の自動車用内装材関連が減産の影響を受け、液体分散体では上海でのロックダウンの影響から、中国向けの大型液晶パネル用途が低調となり、部門営業利益は昨年を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は65億1百万円(前年同期比9.6%減)、営業損失は2億7百万円(前年同期営業利益5億2千1百万円)となりました。

「東南アジア」

東南アジアは、一部の原料不足や半導体を起因とする部材不足の影響を受けた顧客の減産により販売が減少しましたが、為替や原料価格の影響により当第2四半期連結累計期間の売上高は66億2百万円(前年同期比2.7%増)となりました。一方で、取扱数量の減少や電気料金高騰、原料価格高騰の影響もあり、営業利益は1億7千7百万円(前年同期比44.3%減)となりました。

「その他」

その他は、中国でのコロナ感染拡大でゼロコロナ政策による操業停止を余儀なくされましたが、原料価格の影響により当第2四半期連結累計期間の売上高は2億9千万円(前年同期比35.3%増)となりました。一方で、取扱数量の減少や原料価格高騰の影響もあり、営業損失は2千万円(前年同期営業損失4百万円)となりました。

(2)財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は334億7千3百万円と前期末の327億7千1百万円に比べ7億2百万円の増加となりました。

資産のうち流動資産は180億3千8百万円と前期末の174億7千1百万円に比べ5億6千7百万円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金が1億5千3百万円、製品が3億4千1百万円、原材料及び貯蔵品が2億2千4百万円、その他が2億7千1百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が4億2千3百万円減少したことなどによるものです。固定資産は154億3千5百万円と前期末の153億円に比べ1億3千5百万円の増加となりました。この主な要因は有形固定資産が4千3百万円、投資その他の資産が8千4百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は177億7千1百万円と前期末の177億9千万円に比べ1千8百万円の減少となりました。負債のうち流動負債は131億2千4百万円と前期末の129億6千9百万円に比べ1億5千4百万円の増加となりました。この主な要因は短期借入金が3億5千7百万円増加し、未払法人税等が1億5千万円、その他が9千2百万円それぞれ減少したことなどによるものです。固定負債は46億4千6百万円と前期末の48億2千万円に比べ1億7千3百万円の減少となりました。この主な要因は繰延税金負債が7千6百万円、退職給付に係る負債が2千6百万円それぞれ増加し、長期借入金が1億2千6百万円、関係会社整理損失引当金が1億5千1百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

純資産合計は157億2百万円と前期末の149億8千万円に比べ7億2千1百万円の増加となりました。この主な要因は為替換算調整勘定が8億2千8百万円増加したことなどによるものです。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期における通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,142,763	5,295,988
受取手形及び売掛金	6,833,724	6,410,568
製品	2,056,500	2,398,495
原材料及び貯蔵品	1,780,640	2,005,209
その他	1,657,682	1,928,724
貸倒引当金	△300	△890
流動資産合計	17,471,011	18,038,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,096,995	3,111,168
土地	3,775,375	3,809,474
その他（純額）	2,331,186	2,326,292
有形固定資産合計	9,203,556	9,246,935
無形固定資産	200,672	208,189
投資その他の資産		
投資有価証券	4,813,589	4,785,532
退職給付に係る資産	626,242	668,150
繰延税金資産	167,089	217,053
その他	292,600	313,590
貸倒引当金	△3,585	△3,585
投資その他の資産合計	5,895,936	5,980,742
固定資産合計	15,300,165	15,435,868
資産合計	32,771,177	33,473,965
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,938,353	5,954,675
短期借入金	5,380,287	5,738,079
未払法人税等	225,088	74,286
賞与引当金	212,734	237,235
その他	1,213,405	1,120,507
流動負債合計	12,969,868	13,124,785
固定負債		
長期借入金	2,967,649	2,841,319
繰延税金負債	993,387	1,070,334
退職給付に係る負債	456,590	482,624
関係会社整理損失引当金	353,031	201,299
その他	49,784	51,317
固定負債合計	4,820,443	4,646,894
負債合計	17,790,311	17,771,680

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,033,981	1,033,981
利益剰余金	10,343,389	10,250,895
自己株式	△18,342	△18,513
株主資本合計	12,840,188	12,747,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,519,725	1,344,441
為替換算調整勘定	△354,935	473,950
退職給付に係る調整累計額	△20,343	△14,161
その他の包括利益累計額合計	1,144,447	1,804,230
非支配株主持分	996,229	1,150,531
純資産合計	14,980,865	15,702,285
負債純資産合計	32,771,177	33,473,965

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	13,835,378	13,394,793
売上原価	11,476,563	11,873,133
売上総利益	2,358,814	1,521,660
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	321,226	305,407
人件費	612,727	618,228
貸倒引当金繰入額	—	590
賞与引当金繰入額	49,494	53,535
退職給付費用	20,831	36,423
その他	518,597	558,166
販売費及び一般管理費合計	1,522,876	1,572,350
営業利益又は営業損失(△)	835,937	△50,690
営業外収益		
受取利息	3,073	14,498
受取配当金	41,372	47,186
持分法による投資利益	42,549	67,339
為替差益	7,101	—
その他	43,323	76,908
営業外収益合計	137,420	205,932
営業外費用		
支払利息	55,835	43,221
為替差損	—	3,584
その他	12,702	32,406
営業外費用合計	68,537	79,212
経常利益	904,821	76,029
特別利益		
固定資産売却益	519	26,274
特別利益合計	519	26,274
特別損失		
固定資産除売却損	2,733	384
特別損失合計	2,733	384
税金等調整前四半期純利益	902,607	101,919
法人税、住民税及び事業税	222,728	36,742
法人税等調整額	30,587	△19,896
法人税等合計	253,316	16,846
四半期純利益	649,291	85,073
非支配株主に帰属する四半期純利益	46,526	20,576
親会社株主に帰属する四半期純利益	602,764	64,496

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	649,291	85,073
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68,723	△175,284
為替換算調整勘定	197,410	812,149
退職給付に係る調整額	6,752	5,138
持分法適用会社に対する持分相当額	72,169	151,505
その他の包括利益合計	345,057	793,507
四半期包括利益	994,348	878,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	908,365	724,279
非支配株主に係る四半期包括利益	85,982	154,301

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,188,994	6,431,887	13,620,882	214,496	13,835,378	—	13,835,378
セグメント間の内部 売上高又は振替高	156,679	—	156,679	96,316	252,995	△ 252,995	—
計	7,345,674	6,431,887	13,777,561	310,812	14,088,374	△ 252,995	13,835,378
セグメント利益又は損失(△)	521,879	318,308	840,188	△ 4,250	835,937	—	835,937

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,501,565	6,602,922	13,104,487	290,306	13,394,793	—	13,394,793
セグメント間の内部 売上高又は振替高	113,585	—	113,585	36,173	149,758	△ 149,758	—
計	6,615,151	6,602,922	13,218,073	326,479	13,544,552	△ 149,758	13,394,793
セグメント利益又は損失(△)	△ 207,505	177,169	△ 30,335	△ 20,354	△ 50,690	—	△ 50,690

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。